

国語視聴覚教材

DVD

VHS

CD



SUN EDUCATIONAL



CONTENTS

DVD

言葉の力をはぐくむ (全5巻)	1
教室ディベート入門 (全5巻)	2
教室コミュニケーション入門 (全5巻) ..	3
アニメ古典文学館 (全6巻)	4
平家物語 人物紀行 (全5巻)	6
古典資料 (全3巻)	10
鑑賞入門 (全2巻)	13
漢文入門 (全6巻)	14

VHS

言葉の力をはぐくむ (全5巻)	1
教室ディベート入門 (全5巻)	2
教室コミュニケーション入門 (全5巻) ..	3
アニメ古典文学館 (全6巻)	4
平家物語人物紀行 (全5巻)	6
ビデオ古典名作撰 (全15巻)	8
古典資料 (全3巻)	10
俳諧文学 (全3巻)	10
古典文学	11
文学資料 (全7巻)	11
歌舞伎 (全7巻)	12
鑑賞入門 (全3巻)	13
文楽鑑賞	13
漢文入門 (全6巻)	14
漢文解説 (全5巻)	15
近代文学 (全9巻)	16

CD

作品朗読教材 (全4巻)	18
朗読指導教材	18
漢文解説教材 (全5巻)	19
平曲のすべて (全3巻)	20
平曲の世界 (全2巻)	20
須田誠舟の琵琶 (全2巻)	20
オーディオ詩集 (全7巻)	21

見直そう 自分の使っている言葉 言葉の力をはぐくむ

監修：川本信幹(日本体育大学名誉教授・日本語検定委員会研究主幹)

指導：甲斐利恵子(東京都台東区立御徒町台東中学校教諭)

◆VHS 各巻17,850円(税抜17,000円)

●DVD 各巻17,850円(税抜17,000円)

言葉は、他者を理解し、社会と対話するための手段です。子どもたちにとって、確かな学力を形成する基盤となることはもちろん、感性・情緒の礎ともなります。「話す・聞く・書く・読む」能力を高め、言語感覚を磨くことで、論理的な思考力と表現力が養われ、伝え合う力＝コミュニケーション力が身につくとともに、「生きる力」も培われていきます。「言葉の力をはぐくむ」は、日常使われる言葉を取り上げ、考える学習を通して、豊富な語彙や言葉のきまり、敬語の使い方、表現方法などに気づかせ、言語活動の向上に役立つことをねらいとして構成しています。日本語に対する興味や関心を高め、言葉によるコミュニケーション力を高めるきっかけとなる映像作品です。



「映像で学ぶ言葉の力」

川本信幹

(日本体育大学名誉教授・日本語検定委員会研究主幹)

新しい学習指導要領は、学校教育の大きな目標の一つに「言葉の力をはぐくむ」を掲げています。しかし、言葉の力をはぐくむとは、「言うは易くして行うはかたし」という大きな課題です。この課題を達成するには、学校のすべての教育活動による継続的な指導が必要です。中でも、国語科教育にはその中心教科として大きな責任がかかっています。「言葉の力をはぐくむ」指導の内容は主として言語事項にかかわるものですが、いずれも地味で、継続的な努力が必要ですが、生徒の関心をとらえにくいものです。本シリーズでは、様々な言語事項の学習を映像化することによって生徒の興味を喚起し、言葉の学びを楽しく進めようとするものです。指導者と生徒が一緒になって学習を進めるという形式が取られています。学校生活や社会生活の中での具体的な言語活動例が用意され、鮮明な映像と指導者役による明晰なナレーションで生徒の理解を助けます。「言葉の力をはぐくむ」学習はどうあるべきか、ご自分の目でお確かめのうえ、楽しい学習指導の創造にご活用下さい。



①言葉を豊かに －日本語の語彙－

◆VHS 19H0104A

●DVD 17V0022S

約27分

言葉の力を支えるものとして最も大事な要素は語彙でしょう。日本語の語彙について様々な角度から考えさせ、言葉を豊かにする方法を学びます。学校での普段の会話や教室の情景や街の光景の中で漢語、和語、外来語を見付けてそれぞれの性質を理解させます。また、対義語・類義語・多義語について類義語辞典や反対語辞典などを使って調べたり、ゲーム形式で言葉を出し合ったり、社会人の意見を聞いたりして語彙を増やすことを学ばせます。さらに、語彙を豊かにする具体的な方法(辞書の利用、読書・新聞の活用など)を提示して、自発的な語彙学習の手立てとします。
(主な内容)・漢語・和語・外来語・類義語・対義語・多義語 他



【特徴】

- ①国語科で取り上げる「言葉の力」を身に付けるための言語学習項目を解説。
- ②生徒が自発的に言葉について考え、言語学習に積極的に取り組めるよう促す。
- ③「言葉」の学習課題を随所に提示。言語学習の導入、発展、まとめに活用できる。
- ④「日本語っておもしろいね」と生徒たちと語り合える授業に役立つ。



「日本語っておもしろいね」と語り合える教室を」 甲斐利恵子

(東京都台東区立御徒町台東中学校教諭)

「言葉」を学ぶことは楽しい。それは、大人も中学生も同じである。「言葉」が話題になると、教室がとたんに明るくなる。このシリーズを見て、「日本語っておもしろい」「日本語についてもっと知りたい」「よし、この言葉を使ってみよう」とつぶやく中学生の声が聞こえそうである。教室での活用について、いくつか提案したい。

- ①ビデオを見ながら聞き取りメモをし、パンフレットにまとめる。

聞くことの学習にもつながるものである。要点を聞き取り、自分なりのパンフレットにまとめる。さらに自分で調べたものを加えてオリジナルのパンフレットを作っても楽しいのではなかろうか。

- ②「言葉」に関する単元の「導入」として観て、この中から自分の学習課題を決める。

このシリーズには日本語の特質をはじめ、さまざまな「言葉」の学習の課題が提示されている。「もっと詳しく調べてみよう」という学習の「導入」に活用できる。

- ③「言葉」に関する単元の「まとめ」にする。

この中にはさまざまなテーマがあるので、それぞれの学習の「まとめ」に活用できる。しっかりした「まとめ」があれば学習は定着し、さらに、学習したことを日常生活に生かしていこうという意欲も喚起できる。

②言葉のきまり —文法の大切さ—

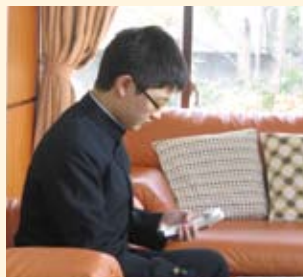
◆VHS 19H0105A
●DVD 17V0023S
約28分



言葉のきまり、つまり文法は、言葉の運用の仕方の学習に欠くことのできない重要な要素であるにもかかわらず、その学習は敬遠されがちです。クイズ形式や生活の中での具体例などを取り込んで、気軽に楽しく文法の学習をさせる方法を具体的に解説します。日常生活で何気なく使い、耳にしているのに、実は言葉のきまりを外れているものが少なくありません。言葉のきまり(文法)を知らないために起きる様々な間違いの事例、近年誤用例として議論の種になっている様々な事例を、実際の場面に再現して、言葉のきまり(文法)を知ることの重要性を解説していきます。
(主な内容)・「ら抜き」言葉・「さ入れ」言葉・「千円から、お預かりします」・「ぼくは、ゆで卵だ！」 他

③言葉を選ぶ —場面に応じた言葉—

◆VHS 19H0106A
●DVD 17V0024S
約26分



学校や家庭や社会生活の様々な場面で、とっさにどのような言葉を使ったらいいのか迷うことがあります。円滑なコミュニケーションのためには、場面や相手に応じた言葉を選ぶことが大切です。挨拶の言葉の使い分けの事例から始まり、中学生が友人宅に電話を掛けたり、改まった手紙を書いたりする事例、友人に謝罪する事例、教室での短いスピーチの事例などを通して、言葉を選んで使うことの大切さを示し、それぞれの具体的な方法を紹介します。

(主な内容)・友達の父親と電話で話す場合・改まった手紙を書く場合・友達に謝罪する場合・スピーチ 他

④言葉を生かす —敬語の使い方—

◆VHS 19H0107A
●DVD 17V0025S
約29分



そんなつもりはなかったのに相手を怒らせたり、自分の考えたことが相手にうまく伝わらなかったりして後悔したりもどかしい思いをしたりすることがあります。これは言葉をうまく生かして使っていないことから起きる現象です。言葉を生かして使うことが求められるのは、敬語です。敬語については、短い時間で公式どおりの指導をしたのでは生徒の興味を喚起することはできません。クイズ形式を取り入れたり、社会生活の様々な場面や学校・教室での使用例を見ながら進行し、敬語の役割や働きを考えます。特に、尊敬語と謙譲語の違いについて分かりやすく解説します。

(主な内容)・尊敬語・謙譲語・丁寧語・社会人の敬語 他

⑤言葉を磨く —洗練された日本語表現—

◆VHS 19H0108A
●DVD 17V0026S
約29分



言葉の力をはぐくむ学習のまとめとして、美しい、洗練された日本語とはどういうものかを考えます。まず美しいリズムを感じさせる近代詩や和歌・俳句などを取り上げて洗練された日本語を感得します。続いて、言葉のイメージを広げる比喻や慣用句の具体的な使用場面を見たり、さらに古典から生まれた故事成語などを取り上げて、洗練された言葉を使うことの素晴らしさを感じさせ、言葉を磨くことの必要性を考えます。まとめとして、言葉の力をはぐくむための発展的な4つのポイントが分かりやすく解説されます。

(主な内容)・比喻・慣用句・故事成語・シリーズのまとめ 他

ディベートとはなにか？ 教室ディベート入門

監修：川本信幹（日本体育大学名誉教授・日本語検定委員会研究主幹）

◆VHS 各巻18,690円（税抜17,800円）

●DVD 各巻17,850円（税抜17,000円）

学校教育における教科指導の方法としてのディベートは、まだ教室に十分浸透しているとはいえない。

●『教室ディベート入門』シリーズは、“ディベートとはどういうものか活字だけではよくわからない”と、ディベートの導入をためらっている先生方への手引きとなる構成にしました。

●ディベートとはどういうものか、目で確かめながら、また子どもたちと見ながら活用できる映像です。



①ディベートとはなにか

◆VHS 19H0055A ●DVD 17V0008S 約20分

一般的な意味でのディベートの定義から始まり、ディベートのさまざまな種類、教室ディベートの標準的な形式・効用などを具体的な映像を用いながら解説する。



②ディベートの事前指導

◆VHS 19H0056A ●DVD 17V0009S 約20分

教室ディベートにおいては、ディベートの方法を児童・生徒に理解させることから始まり、グループづくり、テーマの設定、グループワーク、資料の収集など事前作業が必要である。これらの指導について映像を用いつつ解説する。



③ディベートマッチの指導

◆VHS 19H0057A ●DVD 17V0010S 約20分

教室ディベートのディベートマッチの実施の仕方について、映像を用いて細かく解説する。教室ディベートはただディベートマッチをやらせるだけでは教育的効果がない。直接対戦しているもの以外の児童・生徒には何をさせればよいのか、指導者は何をすればいいのかなどについても解説する。



④ディベートの判定と評価

◆VHS 19H0058A ●DVD 17V0011S 約20分

ディベートでは、討論終了後いずれのグループが優勢か判定しなければならない。さらに教室ディベートでは教科によっては児童・生徒の活動ぶりを評価しなければならない。この方法・留意点について解説する。また、ディベートを教科指導にどう生かすかについても解説する。



⑤モデルディベート ～食事中はテレビを見るべきではない～

◆VHS 19H0059A ●DVD 17V0012S 約20分

どこかの教室で実施したディベートマッチのビデオを見る機会はしばしばある。しかし、一つのカメラで、かつ不完全な照明の中で撮った映像は、サンプルとして使いにくい。脚本に基づき、演技に慣れた子どもたちによるモデル・ディベートマッチを映像に収めた。

音声言語指導の基礎から応用まで 教室コミュニケーション入門

— 音声言語の指導の実際 —

監修：川本信幹(日本体育大学名誉教授・日本語検定委員会研究主幹)

◆VHS 各巻18,690円(税抜17,800円)

●DVD 各巻17,850円(税抜17,000円)

国語科教育で重視されている音声言語の指導。従来の学習指導要領でも音声言語の指導、つまり「話すこと・聞くこと」は決してなおざりにしていたわけではありません。しかし、改めて音声言語の指導に取り組もうとしても、具体的にどのように指導すればよいのか当惑していらっしゃる先生方も多いのではないかと思います。「教室コミュニケーション入門」は、そのような先生方の手助けをさせていただくために制作されたものです。ここでは主として小学校の教室で学習させる「話すこと・聞くこと」の指導の仕方を、基礎から応用まで幅広く取り上げて解説しました。具体的な内容が用意され、鮮明な映像と、明晰なナレーションで分かりやすく解説されております。「教室コミュニケーション」の指導はどうあるべきか、ご自分の目で確かめのうえ、教室での学習指導にご活用下さい。



①教室コミュニケーションの指導

◆VHS 19H0065A ●DVD 17V0003S 約25分

「教室コミュニケーション」指導の概論です。まず、コミュニケーションの意味・重要性を解説し、新学習指導要領で示されている音声言語の指導の基礎的な事項、応用的な技能に属する事項について、さまざまな具体例を映像で示しながら解説しました。さらに、「教室コミュニケーション」のさまざまな形態、つまり教室で「話すこと・聞くこと」の能力を育てるための学習活動の形態を、具体例とともに紹介してあります。



②対話・話し合い

◆VHS 19H0066A ●DVD 17V0004S 約25分

教室での最も基本的なコミュニケーションの形でありながら、意外に指導の手が加えられていない「対話」と「話し合い」を取り上げます。比較的指導のしやすい「対話」の基本的な形から始まって、改まった場面での「対話」について、さらに「対話」から発展した形の「話し合い」についてさまざまな具体例を挙げて解説します。その上で、「対話」「話し合い」の指導の在り方を、「指導者自身の心構え」「児童に対する指導」の二つの視点から解説します。



③スピーチ

◆VHS 19H0067A ●DVD 17V0005S 約25分

集団を対象として、改まった形でコミュニケーションを図る方法には「スピーチ」「発表」「報告」などの「独話」があります。基礎的な発音の訓練や対話の実習によって培われた児童の音声言語の能力が、妥協を許さぬ形で問われるのが独話です。本巻では、「スピーチ指導の形態」や「教室でのスピーチ学習」の実際、「スピーチ指導の留意点」「スピーチ評価」について、具体的な映像を示しながら解説します。最後に、モデルスピーチを三例紹介してあります。児童に見せて、参考にさせることもできるでしょう。



④討論

◆VHS 19H0068A ●DVD 17V0006S 約25分

討論もまた、生きる力として重要な役割を果たします。日本人は討論の能力が弱いと、社会的にも国際的にもしばしば不利益を蒙ることがあります。小学校でも、児童のコミュニケーション能力を育むために、討論を積極的に活用したいものです。本巻では、教室での学習指導に実際に活用できる形で、自由討論(司会者なし・司会者付)、会議、パネル・ディスカッション、ディベートについて、それぞれの具体的な方法・手順を映像を使って解説します。



⑤音読・朗読・群読

◆VHS 19H0069A ●DVD 17V0007S 約25分

音声言語の基礎的な能力、つまり発音・発声・姿勢・口形などに留意した話し方の能力、また音声による表現力を育てる意味で、「音読」「朗読」「群読」は大きな役割を果たすことができます。それがこのシリーズに「音読」「朗読」「群読」を取り入れたゆえんです。この巻では「音読」「朗読」の位置付けと効用、「音読」「朗読」の指導上の留意点を、映像で実例を挙げながら具体的に解説します。さらに「群読」についても、ごく普通の教室で試みることでできるミニ群読を紹介します。

